

「五月の雪(2)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

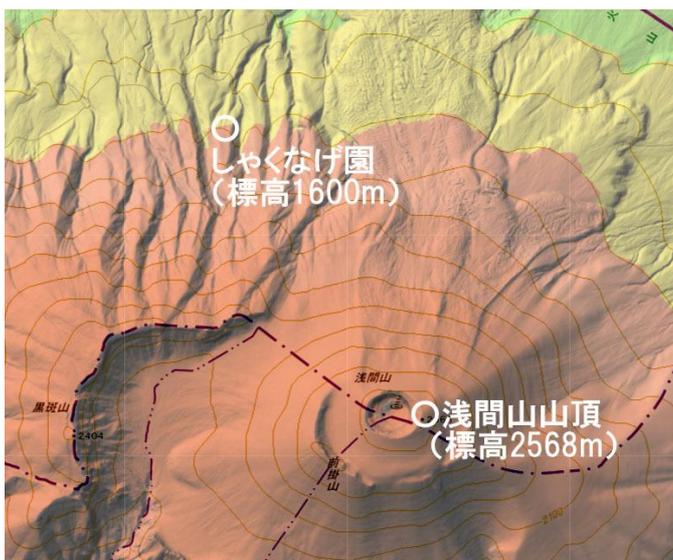
お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

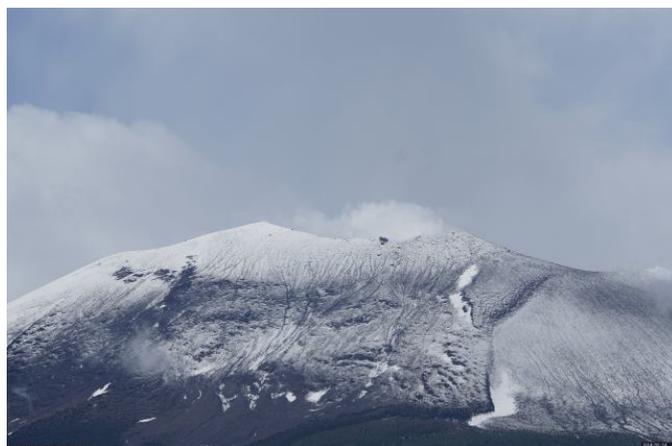
5月9日の低気圧と寒気によって、関東北部、甲信地方の山岳部には、広い範囲で雪が降り、積雪も観測された。霧が峰、白樺湖、八ヶ岳山麓でも雪になったという。



私の山荘は標高 1100m の北軽井沢にあるが、幸い雪にはならず、9日の朝は雨だった。気温は 4.7°C だったので、あと 2~3°C 低かったら雪になっていただろう。しかし同じ浅間高原でも、もう少し標高の高い場所では状況がちがっていた。



浅間山の北の中腹に「しゃくなげ園」という景勝地がある。これから6月にかけて、何万株のもシャクナゲが一斉に咲きそろう。そこに雪が積もったというので、地元の方に写真を送ってもらった。



しゃくなげ園があるのは、標高 1600m 付近の浅間山北中腹である。写真は9日午前6時の浅間山の様子だが、ちょうど積雪の境界付近(写真の右下角あたり)にしゃくなげ園がある。



当日のしゃくなげ園の写真を見ると、湿った感じの雪が一面に積もっている。気温は 0°C か +1~2°C 程度だったと思われる。写真から判断して、積雪深はせいぜい 3cm 程度だろう。



一部のシャクナゲはすでに咲き始めていたようだ。花たちも、突然の雪にさぞ驚いたことだろう。浅間山麓では4月に雪が降るのは珍しくない。しかし5月中旬に近い時期に雪が積もるのは稀だ。